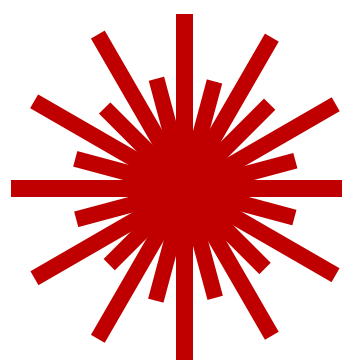


第32回
レーザー安全スクール
—ご案内—



LASER
SAFETY
SCHOOL

- 会期 1期 平成29年10月23日(月)～10月27日(金)
2期 平成28年11月13日(月)～11月17日(金)
- 会場 東京 機械振興会館

主催 : 一般財団法人光産業技術振興協会
後援 : 経済産業省 (予定)

1. 趣旨

一般財団法人光産業技術振興協会は、レーザー機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、昭和58年に「レーザー機器導入・安全取扱い講習会」をスタートさせました。以後、名称を「レーザー安全スクール」と改称すると共に、レーザー安全に対する関心の高まりに対応するため内容を一層充実させ、今日まで一貫してレーザー取扱者の安全教育に徹してまいりました。おかげさまで、延べ約25,260名の参加をいただきました。

第32回を迎える本年度の「レーザー安全スクール」は、JIS C 6802:2014「レーザー製品の安全基準」および厚生労働省基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅した内容とし、社会の要請に応えたものといたしました。

光技術、レーザー医療、レーザー安全等の各テーマについて、現在ご活躍中の専門家を講師に招き、講義内容もさらに充実をはかり、実務にすぐに役立つものといたしました。

またこれと並行して平成2年度から実施している「レーザー機器取扱技術者試験」も皆様方のご理解をいただき、本年で第28回を数えることとなりました。

以上の趣旨をご理解のうえ、レーザー機器の設計開発、製造、加工、運用等に携わる多くの方々が奮ってご参加くださいますようご案内いたします。

2. スクールの構成

ご活躍中の専門家を講師に招き、当協会のレーザー関連専門委員会の調査・研究と国内外の最新情報をふまえて、実践的でわかりやすい講義を展開いたします。

- コース概要 各コース独立した内容になっております。

	コース名	概要
I コース	光・レーザー概論	レーザー安全について学ぶ土台作りのために、光・レーザーの基本から専門知識までを体系的に学ぶ
S1コース	レーザー工学の基礎	レーザー工学の基礎的事項について学ぶ
S2コース	レーザー安全の基礎	JIS C 6802を中心に、レーザー安全基準、安全予防対策、レーザー光の人体への影響等について学ぶ
S3コース	レーザー応用機器の安全	通信・医療用途等のレーザー応用機器の安全性について考え方と安全対策等を学ぶ
S4コース	大出力レーザー機器の安全	各種大出力レーザー加工機の特性と安全対策等について学ぶ
M1コース	レーザー安全管理者	Sコースの内容を前提として安全管理・対策、健康管理等について総合的に解説
M2コース	レーザー安全技術者	Sコースの内容を前提としてレーザー測定、設計のための技術的事項について解説

- 対象

- ・レーザー機器の研究開発・設計組立、メンテナンス、試験等に携わる方々
- ・レーザー機器の導入・企画、販売に携わる方々
- ・レーザー機器の取扱者、運用管理に携わる方々
- ・企業内安全衛生管理に携わる方々
- ・レーザー機器取扱い初心者および取扱い予定の方(初心者教育の一環としての導入もお勧めいたします。)

●補足事項

・Iコース（光・レーザ概論）は、レーザ安全を理解するための土台となる基礎知識の習得を目的としたコースです。Sコース、Mコースの受講に先立って基礎作りをしたい方にお勧めのコースです。

・Sコース、Mコースの受講コース選択例

- ◇ 選択例 1：レーザ安全入門（総合） : S1,S2,S3,S4
- ◇ 選択例 2：レーザ安全入門（加工機） : S1,S2,S4
- ◇ 選択例 3：レーザ安全入門（加工機以外） : S1,S2,S3
- ◇ 選択例 4：レーザ安全管理者 : S1,S2,S3,S4,M1,(M2)
- ◇ 選択例 5：レーザ安全技術者 : S1,S2,S3,S4,(M1),M2
- ◇ 選択例 6：レーザ機器取扱技術者試験合格登録者向け : S2
(JIS C 6802の最新の内容を学びなおす)

・コース毎に当協会より修了証を発行します。

※ ただし、遅刻および途中退席の場合には修了証は発行いたしません。

・テキストは、コース毎に用意いたします。

※ テキスト代は参加費に含まれます。

●JISの販売について

・レーザ安全スクール事務局では、スクール参加者に限り、レーザ安全に関するJISを下記特別価格にて販売します。（スクール申込時に受付）

・レーザ機器のクラス分けや安全対策の指針となる規格書ですので、この機会にご購入されることをお勧めします。

参考資料	予価（税込）
JIS C 6802 :2014 レーザ製品の安全基準	5,300 円
JIS C 6803 :2013 レーザ製品の安全 －光ファイバ通信システムの安全－	3,700 円
JIS C 6804 :2008 レーザ製品の安全 －情報伝送のための光無線通信システムの安全－	3,200 円

※ JISの販売金額は当協会賛助会員・一般共に同一価格となります

3. 参加申込方法

●申込方法

当協会ホームページ（“OITDA”もしくは“レーザー安全スクール”と検索または <http://www.oitda.or.jp/>）よりお申し込みください。
申込者には、参加証および参加費請求書をお送りいたします。

●申込締切

1期：平成29年10月6日（金）消印有効

2期：平成29年10月27日（金）消印有効

※ただし、定員になり次第締め切ります。

※参加定員は“日程のご案内”をご参照下さい。

●参加費（参加費は税込み。テキスト代・昼食代を含む）

コース	一般	賛助会員（*注1） 合格登録者（*注2）
Iコース（2日間）	35,000円	32,000円
S1,S2,S3,S4、 M1,M2（各1日間）	19,000円	17,000円

（*注1）賛助会員か否かは、当協会HPでご確認ください

（<http://www.oitda.or.jp/main/act/ssupporter-j.html>）

（*注2）レーザー機器取扱技術者試験合格登録者

●参加費支払方法

下記の銀行口座にお振込み下さい。

三井住友銀行 東京公務部（店番号 096）
普通預金 15883
口座名：ザイ)ヒカリサンギョウキギシ ヲツシンコウキョウカイ
（一般財団法人光産業技術振興協会）

●注意事項

- ・参加費は参加証を受取後、請求書記載の日付までに、必ずお振込み下さい。
- ・領収書は銀行の発行する振込明細書等をもって代えさせていただきます。
- ・参加費の払い戻しはいたしません。
- ・申込みされた方がご都合の悪い場合は、代理の方がご出席下さい。

4. お知らせ

●平成29年度レーザー機器取扱技術者試験について

レーザー機器の取扱いに起因する危険および障害を防止するため、レーザー機器を取扱い、その取扱いに関する安全管理を担当するレーザー機器安全取扱技術者について、その業務の遂行に必要な知識の水準を審査するものです。

●試験日 平成29年 12月 15日（金）

●試験項目

レーザー機器の取扱いに関する安全管理に必要な基礎および専門知識。

※ 詳しくは、別途「レーザー機器取扱技術者試験－ご案内－」をご参照下さい

レーザー安全スクール事務局 高橋・平島

一般財団法人光産業技術振興協会

〒112-0014 東京都文京区関口1-20-10

住友江戸川橋駅前ビル7階

電話：03-5225-6431 FAX：03-5225-6435

E-Mail：ioex@oitda.or.jp

I コース 光・レーザ概論

【1日目】

1期 平成29年10月23日（月） 機械振興会館

時間	テーマ	概要	講師
9:10~11:10 (120)	光線工学(レーザ光線工学)	レーザ光伝播の光線束による説明 (ミラー・レンズによるレーザ光の集光特性および レーザビームの操作法)	本田ひかり技研 千葉大学 名誉教授：本田 捷夫
11:10~11:20	休憩		
11:20~12:20 (60)	光波	光の領域、光波の表示、偏光、フレネルの式、 エネルギー反射率、透過率、全反射、干渉、回折	ST教育研究所 代表 (元)職業能力開発総合大学校東京校 教授：飯島 徹穂
12:20~13:10	休憩 (昼食)		
13:10~15:00 (110)			
15:00~15:10	休憩		
15:10~17:00 (110)	放射量	放射量JIS用語、放射量の測定基礎	国立研究開発法人産業技術総合研究所 九州センター 産学官連携推進室 シニアマネージャ：挟間 壽文

【2日目】

1期 平成29年10月24日（火） 機械振興会館

時間	テーマ	概要	講師
9:10~12:10 (180)	レーザの原理と種類	吸収、自然放出、誘導放出、反転分布と増幅、 スペクトルプロファイルと幅、レーザの原理、 レーザの種類	東京電機大学 名誉教授：川瀬 宏海
12:10~13:00	休憩 (昼 食)		
13:00~15:50 (170)	共振器とビーム特性	共振器、横モード、縦モード、スポットサイズ、 ビーム広がり、レーザビームの指向性と集光性	慶應義塾大学 理工学部 電子工学科 教授：津田 裕之
15:50~16:00	休憩		
16:00~17:00 (60)	演習		

S 1 コース

レーザ工学の基礎

1 期 平成29年10月23日（月） 機械振興会館

2 期 平成29年11月13日（月） 機械振興会館

時 間	テ ー マ	概 要	講 師
9:10~12:10 (180)	光の基礎	表面反射、材料と吸収率、散乱、複屈折、偏光板、 $\lambda/4$ 板、E0、A0素子、アイソレータ	東京農工大学大学院工学府 機械システム工学専攻 准教授：岩見 健太郎
12:10~13:00	休 憩 （ 昼 食 ）		
13:00~16:00 (180)	レーザの基礎	出力特性（CW、パルス）、Qスイッチ、モード同期、CO ₂ レーザ、YAGレーザ、エキシマレーザ、半導体レーザ	防衛大学校 名誉教授：安岡 義純
16:00~16:10	休 憩		
16:10~17:00 (50)	演習		

S 2 コース

レーザー安全の基礎

1 期 平成29年10月24日（火） 機械振興会館

2 期 平成29年11月14日（火） 機械振興会館

時 間	テ ー マ	概 要	講 師
9:10~10:10 (60)	レーザー光の人体への影響	目 及び 皮膚損傷や安全に対する医学上の考慮	昭和大学 中西 孝子 北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授：西坂 剛
10:10~10:20	休 憩		
10:20~11:50 (90)	JIS C 6802制定の目的と背景、 露光基準とクラス分け	制定の目的と背景、制定に至る経緯、 レーザー製品の安全予防通則、 目 及び 皮膚に対する露光基準、 危険評価とクラス分け	一般財団法人日本品質保証機構 安全電磁センター 試験 1 課 久米 宗太 一般財団法人光産業技術振興協会 TC 76/レーザー安全標準化部会 理学博士：猿渡 正俊
11:50~12:40	休憩（昼食）		
12:40~14:10 (90)			
14:10~14:20	休 憩		
14:20~16:20 (120)	製造業者の安全予防対策 (製造上の要件) 使用者の安全予防対策 (使用者への指針)	製造業者の安全予防対策、技術的管理対策、 ラベル 使用者の安全予防対策、 レーザー運転に付随する危険、 危険評価と管理基準の運用手順、 レーザー保護メガネ	株式会社エイチ・ティー・エル 営業本部 エキスパート：渡部 修一
16:20~16:30	休 憩		
16:30~17:00 (30)	演習		

S 3 コース

レーザ応用機器の安全

1 期 平成29年10月25日（水） 機械振興会館

2 期 平成29年11月15日（水） 機械振興会館

時 間	テ ー マ	概 要	講 師
9:10~10:40 (90)	情報機器の安全	ポス用レーザスキャナ、プリンタ、 レーザプロジェクタ、レーザライトショー等 情報機器の安全性の考え方と具体的計算例	富士通フロンテック株式会社 フロントソリューション事業本部 PS事業部・第一開発部 専任課長：山崎 行造
10:40~10:50	休 憩		
10:50~11:50 (60)	光ファイバ通信システムの安全	光通信システム(OFCS)の現状と安全性の考え方、 OFCSに関する安全規格(IEC)理論的根拠、 OFCSの区域別の要求条件、製造上の要求条件、 サービス及び保守時の手引き、 OFCSの安全使用に関する適用指針	一般財団法人光産業技術振興協会 TC 76/レーザ安全標準化部会 理学博士：猿渡 正俊 沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 教授：高良 秀彦
11:50~12:40	休憩（昼食）		
12:40~13:40 (60)			
13:40~13:50	休 憩		
13:50~14:50 (60)	光無線通信(光空間通信) システムの安全	光無線通信システム(FSOCS)の現状と安全性の 考え方、FSOCSを安全に使用するための設置・ 運用・保守、FSOCSに関する安全規格と適用事例	コイト電気株式会社 電子技術部 電子グループ 課長：鮫島 彰孝 東洋電機株式会社 機器事業部 商品企画開発部開発二課 課長：服部 倫和
14:50~15:00	休 憩		
15:00~16:20 (80)	医用レーザ機器の安全	医療用レーザ装置、安全事項、 クラス分けと危険評価管理基準	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 情報システム研究部門 准教授：佐藤 俊一 杏林大学 保健学部 臨床工学科 先端臨床工学研究室 准教授：中島 章夫
16:20~16:30	休 憩		
16:30~17:00 (30)	演習		

S 4 コース

大出力レーザー機器の安全

1 期 平成29年10月26日（木） 機械振興会館

2 期 平成29年11月16日（木） 機械振興会館

時 間	テ ー マ	概 要	講 師
9:10~11:20 (130)	レーザー加工機器の安全	レーザー加工の原理と特長、 レーザーと材料の相互作用、 レーザー加工機器の構成、 装置・機器安全対策	一般財団法人日本溶接技術センター 会長：入江 宏定 長岡技術科学大学大学院 機械創造工学専攻 創未来テクノロジー大講座 教授：伊藤 義郎
11:20~11:30	休 憩		
11:30~12:30 (60)	紫外レーザー加工機器の安全	紫外レーザー光の特異性、 レーザー発振器の構造と安全装置、 レーザー加工機器と安全装置、加工例、 加工時の安全対策、装置組立調整時の安全対策、 保守点検・修理時の安全対策、周辺機器の安全	三菱電機株式会社 電子システム事業本部 顧問：齊藤 英明 三菱電機株式会社 名古屋製作所 レーザー製造部 グループマネージャー：古田 啓介
12:30~13:20	休 憩 (昼 食)		
13:20~14:50 (90)	固体(近赤外) レーザー加工機器の安全	固体(近赤外)レーザー光の特異性、 レーザー発振器の構造と安全装置、 レーザー加工機器と安全装置、加工例、 加工時の安全対策、装置組立調整時の安全対策、 保守点検・修理時の安全対策、周辺機器の安全	エイチアールディー株式会社 商品推進部 アドバイザー：大迫 貞伸
14:50~15:00	休 憩		
15:00~16:30 (90)	CO ₂ レーザー加工機器の安全	CO ₂ レーザー光の特異性、 レーザー発振器の構造と安全装置、 レーザー加工機器と安全装置、加工例、 加工時の安全対策、装置組立調整時の安全対策、 保守点検・修理時の安全対策、周辺機器の安全	三菱電機株式会社 レーザー製造部 主席技師長：鈴木 正弘
16:30~17:00 (30)	演習		

M1コース（レーザ安全管理者）

1期 平成29年10月27日（金） 機械振興会館

時 間	テ ー マ	概 要	講 師
9:10～10:10 (60)	レーザ事故防止対策及び 健康管理	健康管理の指針・実施方法、事故例の分析	北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授：西坂 剛
10:10～10:20	休 憩		
10:20～12:00 (100)	安全規格特論	レーザ安全規格の安全対策 欧米のレーザ安全規格(EC指令、FDA)	一般財団法人日本品質保証機構 安全電磁センター 試験1課 久米 宗太
12:00～12:50	休 憩 (昼 食)		
12:50～14:10 (80)	安全管理と安全対策特論 “CO ₂ レーザ加工システム 事例とその安全対策”	レーザシステム、管理区域、機器の安全機能、 ビーム伝送、使用・発生ガスの処理、安全指針、 安全教育、レーザシステムの具体的安全対策、 CO ₂ レーザ加工システム	中央大学 研究開発機構 教授：新井 武二
14:10～14:20	休 憩		
14:20～15:20 (60)	安全管理と安全対策特論 “固体レーザ加工システムの 具体的安全対策”	固体レーザ加工システム	オムロンレーザーフロント株式会社 中村 正一郎
15:20～15:30	休 憩		
15:30～16:20 (50)	安全管理と安全対策特論 “紫外レーザ加工システム 事例とその安全対策”	紫外レーザ加工システム	コマツ 開発本部 材料技術センタ 分析・計測チーム長：板倉 康夫
16:20～16:30	休 憩		
16:30～17:00 (30)	演習		

M2コース（レーザー安全技術者）

2期 平成29年11月17日（金） 機械振興会館

時間	テーマ	概要	講師
9:10～11:00 (110)	高出力レーザー特論	高出力レーザーの基礎、非線形光学現象、高出力レーザー用部品、高出力レーザービームの伝送	電気通信大学 レーザー新世代研究センター 教授：米田 仁紀
11:00～11:10	休憩		
11:10～12:10 (60)	設計基礎特論	レーザー光の強度、散乱・反射光の強度、ビーム伝送の散乱・減衰、MPEの計算、クラス分け、防護壁材料、吸収体	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 駆動制御システム技術部 主管技師長：西前 順一
12:10～13:00	休憩（昼食）		
13:00～14:00 (60)			
14:00～14:10	休憩（昼食）		
14:10～16:30 (140)	設計特論	安全設計の基本、保護きょう体設計、ビームハンドリング設計、運転作業者のための安全設計、保守点検・組立調整のための安全設計、総合的な安全設計、安全保護装置・部品	芝浦エレテック株式会社 ものづくりセンター 第三担当 主査：横田 篤
16:30～17:00 (30)	演習		

※ テーマ、講師については、やむをえず変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

会場のご案内

機械振興会館

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

[MAP]



交通手段

- | | | |
|----------------|--------|-------|
| ・東京メトロ日比谷線 | 神谷町駅下車 | 徒歩 8分 |
| ・都営地下鉄三田線 | 御成門駅下車 | 徒歩 8分 |
| ・都営地下鉄大江戸線 | 赤羽橋駅下車 | 徒歩10分 |
| ・都営地下鉄浅草線/大江戸線 | 大門駅下車 | 徒歩10分 |
| ・JR山手線/京浜東北線 | 浜松町駅下車 | 徒歩15分 |

※ 神谷町駅より無料送迎バスが運行されています。

詳しくは機械振興会館HPをご覧ください。

→<http://www.jspmi.or.jp/about/access.html>



一般財団法人光産業技術振興協会

〒112-0014

東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階

電話：03-5225-6431 FAX：03-5225-6435

E-Mail：ioex@oitda.or.jp